

令和6（2024）年度 学校評価表

長野県高遠高等学校

I. 学校目標

学校教育目標					
高遠藩の学問所進徳館における拓世、迫真の実学の精神を現代的視野に立って生かしつつ、人格の完成と平和的な国家および社会の形成者の育成を目指す。 1 真摯な学問的精神の涵養、科学的思考力の増進につとめる。 2 積極性、自主性を養い、責任感を育て、個性に応じた指導を通じてその伸長につとめる。					
中・長期的目標（スクールアイデンティティーとして）					
①地域に根ざし、地域に学び、地域を拓く学校 ②社会的リテラシーを身に付け、未知なる状況に挑戦し、進路を切り拓く生徒を育てる学校 ③次代を担う豊かな人間性とコミュニケーション力を持った生徒を育てる学校					
R6年度の重点目標	自己評価（％）				成果と課題
	A	B	C	D	
（1）人権が尊重される安心安全な学びの場を築き、生徒会活動やクラブ活動を通してルールやマナーを尊重する自律的な態度を育成し、生徒の規範意識を高める。	13	47	33	7	・生徒の主体性を基盤としたクラス、生徒会活動の運営ができた。 ・生徒の規範意識を高める指導ができた。
（2）基礎学力の定着を図り、探究心やコミュニケーション力を育む教育活動を展開し、生徒の進路保障に繋げる。	13	73	13	0	・ICTなどを活用し、基礎学力の定着のための様々な教育活動を展開した。 ・進路保障のための教材準備やカリキュラムを作成し、生徒に取り組ませることができた。
（3）コース制の特色や総合的な探究の時間を活かし、地域体験型学習活動の充実を図り、自己肯定感を高めることにより、自主性を養い、豊かな人間性を育む。	33	67	0	0	・探究学習やコースの授業で、地域と連携し体験的な活動ができた。 ・探究学習やコースの授業で、発表の場を多く設けることで生徒の表現力や自信に寄与できた。
（4）地域づくりの中核校として、高遠学園構想推進連絡会の下、地域の教育機関や福祉施設・文化施設等と連携を深め、開かれた学校の役割を果たす。	33	67	0	0	・地域の方々に学ぶ機会を作ることができた。 ・地域の中学校、小学校、保育園や福祉施設などと連携した活動ができた。

自己評価について

本年の重点目標について、次の4段階で全職員による自己評価を実施したものです。

A：ほぼ目標を達成した B：どちらかといえば目標を達成した

C：どちらともいえない D：あまり達成できなかった

Ⅱ. 項目別評価 (R6年度)

対象	6年度評価項目	6年度評価の観点	成果と課題
1学年	・基本的な生活習慣の確立 ・学習習慣と基礎学力の定着 ・コミュニケーション能力と社会性の向上	・授業を大切にし、参加する生徒を育てることができたか。 ・遅刻・欠課・早退しない意識を持たせることができたか。 ・ノートや課題を期限内に提出する大切さを伝えることができたか。 ・学年研修旅行や学校行事に積極的に取り組めるように計画できたか。 ・自らの特性を理解するとともに相手の個性を認め、適切な距離感や交友関係を保ち、いじめやからかいを抑止することを啓蒙できたか。	○ほとんどの生徒が授業にしっかりと参加することができた。 ○ほとんどの生徒が遅刻早退しないで生活できた。 ○提出物はおおむね良好であった。 ○文化祭、クラスマッチ、平和学習などクラスでまとまって取り組めた。 △友人関係で悩む生徒がいた。SNSの適切な利用方法を何度も指導する必要がある。
2学年	・基本的な生活習慣の確立 ・学習習慣と基礎学力の定着 ・コミュニケーション能力と社会性の向上 ・進路実現に向けた意識づけ	・授業を大切にし、参加する生徒を育てることができたか。 ・遅刻・欠課・早退しない意識を持たせることができたか。 ・ノートや課題を期限内に提出する大切さを伝えることができたか。 ・学年研修旅行や学校行事に積極的に取り組めるように計画できたか。 ・進路見学会、職業を知る講座を通して、進路について具体的に考えさせられたか。 ・希望にあった進路を考えられるように自己の適性がわかるように支援できたか。	○ほとんどの生徒が真剣に取り組むことができた。 △一部の生徒に遅刻の常態化が見られた。三者面談で本人および保護者に改善を促した。 ○粘り強く指導し改善が見られた。 ○事前学習の実施や生徒が主体的に取り組む指導をおこなった。 ○様々な進路行事を通して進路先について考え、より具体的な進路先、就職先を模索することが出来た。 ○アプリ等を活用して自己の適性を知るきっかけをつくり、進路研究につなげることができた。
3学年	・自主的な学習の定着 ・社会性の伸長 ・進路実現	・進徳ルームの活用の定着化が進められるか。 ・進学補習、就職補習、模試を定期的に行い、生徒たちの自主的な学習のサポートが行えたか。 ・文化祭やコースの活動を通じて、生徒たちと地域をつなげる環境づくりを行えたか。 ・生徒たちの進路実現に向けて、進路先の開拓ができたか。 ・進路係と連携し、個に応じた適切な進路指導ができたか。 ・挨拶や言葉遣いなど社会に出るために当たり前に行うべきことを身に付けることができたか。	△定着するように努めることができた。 ○適宜指導できている。 ○文化祭や総合的な探究の時間、コースでの地域活動ができた。 ○就職状況からみて少しずつ広げられていると感じる。 ○進路の先生方のおかげで非常に適切な指導が行えている。 △おおむね達成できた。
生徒指導	・生徒の特性の適確な理解	・生徒の日常生活をしっかりと観察し、変化やサインを見逃さなかったか。 ・個々の生徒の特性がよく話し合わせ、職員間の情報交換が十分に行われているか。	○担任、学年、係が中心となり、生徒の日常生活を観察し、変化やサインを見逃さないように務めた。 ○担任や各学年、生徒指導係が連携を取り、個々の生徒の特性に基づきよく話し合いながら指導し、職員間の情報交換を密にした。
	・基本的生活習慣の確立と規範意識の育成	・日々の基本的生活習慣や身だしなみが自主的に守れるよう指導が行われているか。 ・規律の遵守を通して自主的・民主的集団作りの指導が行われているか。	△日々の基本的生活習慣や身だしなみ指導を実施した。概ね良好であったが、学年による指導の差があり、統一した指導方針や方法が課題となった。 △規律の遵守意識が薄いと感ぜられる問題行動が発生した。規則・ルールの意味や必要性を生徒個々が考え、理解する指導が課題となった。
生徒会	・自主活動を通じた自立的態度や自己肯定感、規範意識、コミュニケーション力等の育成 ・PTAや地域との協働	・高遠城址公園などでのイベントへの協力ができたか。 ・兜陵祭を通して地域との関係づくりを支援できたか。 ・四者協議会の内容が充実するよう検討が進められたか。 ・PTAと協力して環境整備作業ができたか。 ・委員会活動などの生徒会活動に自主的に取り組めるよう支援できたか。	○新しい取組みとして他校生らと協力して商工会のイベントを盛り上げた。 ○テイクアウトや食品販売などを通して地域の方々と交流した。 ○各自が自分の役割を理解し、積極的に討議に参加出来た。 △生徒会としての参加呼びかけは行わなかった。来年以降実施したい。 △正副委員長を中心に当番活動等に取り組んだが、取組みには個人差があることが課題である。
クラブ活動	・生徒の特性を理解し、生徒が選択した競技等を通して社会性の伸長を図る	・ルールやマナーを尊重する自律的な態度を育成し、生徒の規範意識を高めることができたか。	○各クラブにおいて部長やキャプテンを中心にお互いを尊重する態度を育成し、他校生や周囲の人に対する規範意識を高めることができた。

進路指導	生徒に応じた弾力的進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒個人の適性・取り巻く環境等を含め、総合的に進路に関する助言ができたか。 ・学年の状況に対応した指導となっているか。 ・各学年間や学校全体での指導とも連携をとれていたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○担任を中心に生徒面談を経て、進路に向けて助言・指導ができた。 ○毎日、SHR前に進路室で情報共有の機会をもった。
	基礎学力の向上と進路試験対策	<ul style="list-style-type: none"> ・教科だけでなく一般常識や社会常識を基にした、基礎学力の育成ができたか。 ・継続的・組織的に基礎学力の向上がはかられ、3年生は試験対策となり得たか。 ・過去問題集『合格へのレシビ改訂版』を効果的に活用できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> △一般常識や基礎学力については課題がのこる。 ○過去問を年度当初に配布できた。授業でも活用した。
	多様な進路希望に対応した進路情報の提示	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒個人・学年・時期等に応じた進路情報を提示し、自己実現の援助ができたか。 ・保護者に向けた情報提供は適切であったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者向けの説明会を実施した(2, 3学年)。 △欠席の多さがネックになった。
特別支援	生徒の必要に応じた指導支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を要する生徒の実態把握ができたか。 ・個々の生徒に応じた適切な支援ができたか。 ・各種研修会の内容を教職員が共有することにより、教職員がさらに指導支援の力を身につけることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校との連携、保護者面談等を通して、生徒の実態把握が出来た。また職員会や委員会でも共有し、把握することができた。引き続き、生徒の実態把握に努めていきたい。 △生徒にどのような支援ができるのか検討し支援をしているが、支援体制については引き続き検討していく必要がある。また、不登校生徒にどのような支援ができるか検討していく。 ○職員研修会ではほとんどの職員が出席でき、有意義な研修となった。
	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣の確立・個性を伸ばすきめ細かい指導 ・総合的な学習・探究の時間の充実 ・幅広い教養と豊かな人間性を育む ・校内研修の計画と実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力向上のため各学年の実態に応じた教科指導・補習などを行えたか。 ・生徒の希望に応じた補習授業、特性に適った個別指導を計画的に行なえたか。 ・地域の教育力を活かした編成ができたか。 ・自己肯定感を高め、コミュニケーション力を高める活動を組み込めたか。 ・必要な資料の提供や相談活動を行えたか。 ・全校道徳学習を行い幅広く、人権感覚等を磨く機会を提供できたか。 ・日常の中で生徒の、自尊感情、他者の人権を尊重する意識・態度を高められたか。 ・上伊那地区高校合同芸術鑑賞(6月)を充実したものにできたか。 ・図書館の環境整備と利用を促進できたか。 ・実践的な職員研修(特別支援、授業改善、キャリア教育等)の計画と実施をできたか。 ・職員同士で授業を見合う環境作りを行えたか。
コース運営委員会	文理進学・福祉・芸術・情報ビジネス(2,3年)芸術文化(1年)の各コースの充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・各コースで行われる資格検定に積極的に取り組むように支援ができたか。 ・各コースの特色に応じて、探究的な学びを一層深める支援ができたか。 ・高遠高フォーラムにおいて、探究的な学習の成果を発表する支援ができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> △検定受験状況を把握することはできた。しかし、各種検定に関して積極的に取り組むための支援は委員会としてできなかった。 △委員会としての支援はあまりできなかった。 ○先生方のご協力もあって、スムーズに運営することができた。
将来検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・自己、他己評価を通じた学校運営への反映と教職員のチーム力向上 ・新教育課程編成に向けて、学校が置かれている現状、これから取り組まなければならないことを教職員で共有し、見えてきた課題に学校全体で取り組むことができる体制づくりを図る。 ・クラス減にともなうコースの 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価の見直しを行い、学校目標の達成に向けて手立てを講じることができたか。 ・学校評議員会、四者協議会との連携がとれたか。 ・職員意見交換会を実施し、学校目標について理解を深めることができたか。 ・高遠高校の将来を見据え、魅力ある学校の実現に向けて具体的な提案ができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○担任や学年のあり方について検討を重ねた。 ○四者協議会において、今後の高遠町、高遠高校について意見交換ができた。 △来年度、他校でのクラス編成の様々な形を学び続けたり検討を重ねて本校にとって一番ベストな方法を模索したい。 △今後も生徒数、職員数が減っていく中で、様々な行事や分掌で継続が難しい状況が出てくる。来年度も一つずつ継続可能な本校の形を模索したい。